

2022年2月24日

CCU 実証試験を横浜市および三菱重工グループと共同で開始

東京ガス株式会社 広報部

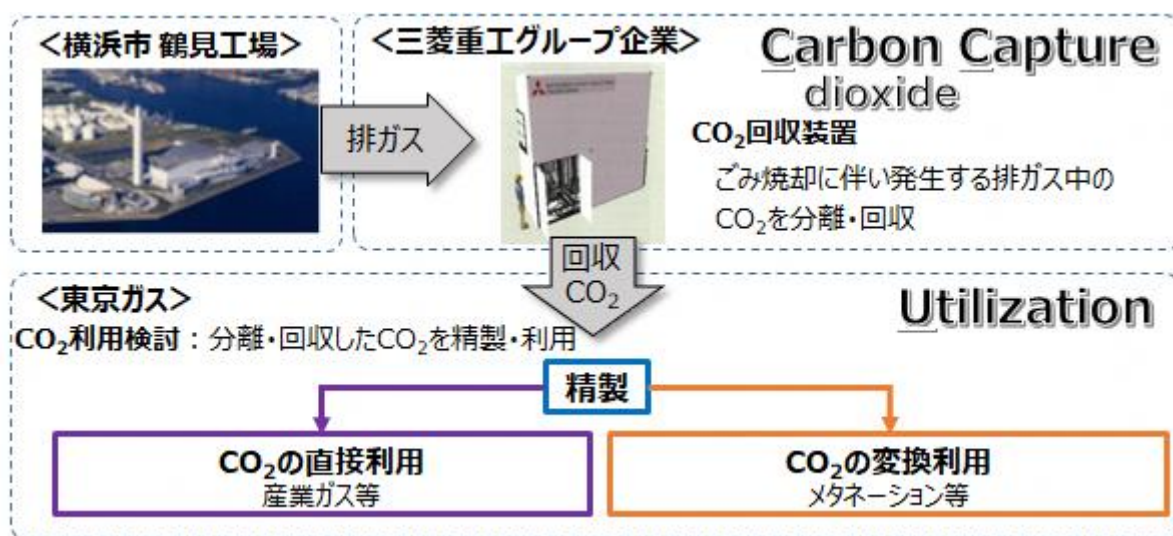
東京ガス株式会社（社長：内田 高史、以下「東京ガス」）は、このたび、横浜市および三菱重工グループ*¹と共同で、横浜市資源循環局鶴見工場（以下「ごみ焼却工場」）の排ガス中に含まれる二酸化炭素（以下「CO₂」）を分離・回収し、CO₂を資源として利活用する技術（以下「CCU*²技術」）の確立に向けた実証試験（以下「本実証」）を2023年1月から開始することに合意しました。

本実証では、ごみ焼却工場の排ガスから、三菱重工グループの技術により分離・回収されたCO₂を、メタネーション*³の原料としてだけでなく、汎用性の高い産業ガス等に資源化するCCU技術の確立に向けた検討を行います。

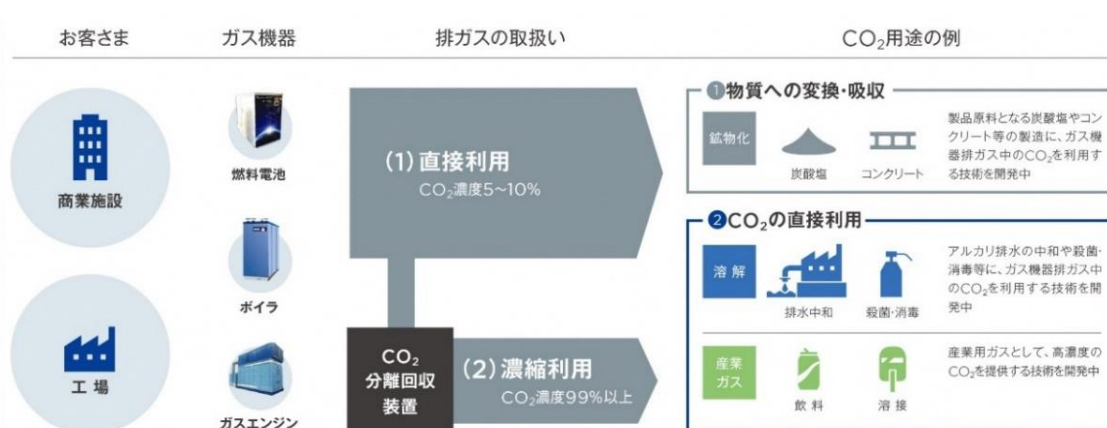
なお、本実証は、2022年1月に東京ガスと横浜市で締結した連携協定*⁴に基づく取り組みの一つとなります。

東京ガスは、CO₂の産業ガス等での直接利用、コンクリート*⁵や炭酸塩*⁶への資源化等、CCU技術の開発に取り組んでおり、今後、お客さま先での実証試験等を進め、商用化を目指します。

<実証試験イメージ>



<東京ガスが取り組む CCU 技術の開発>



東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム^{*7}構築」ならびに「CO₂ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。デジタルソリューションの推進やパートナー企業の拡大等に取り組み、お客さま・社会・ビジネスパートナーとともに、今後とも多様な価値を創出・提供するとともに、「脱炭素社会の実現」に貢献してまいります。

*1 : [三菱重工エンジニアリング株式会社](#)および[三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社](#)

*2 : Carbon dioxide Capture and Utilization の略称

*3 : [メタンネーション実証試験を2021年度内に開始 \(2021年7月7日発表\)](#)

*4 : [横浜市と東京ガスがメタンネーションの実証試験に向けた連携協定を締結 \(2022年1月18日発表\)](#)

*5 : [世界初！都市ガス機器利用時の排ガスを利用した「CO₂吸収型コンクリート」製造を開始 \(2021年7月7日発表\)](#)

*6 : [お客さま先でのCO₂資源化技術の開発について～国内初、排ガスから炭酸カリウムを製造～ \(2021年9月28日発表\)](#)

*7 : 多くの企業が、それぞれ強みを持つ領域の技術・ノウハウ・知見を持ち寄り新たな価値を創出していく事業生態系

以上